

## 共有と議論で より良い施策を。

厳しい財政状況。  
だからこそ課題の共有と丁寧な議論が大切です。



### 議案第20号反対討論の要旨

1. 2年半前に同様の議案が上程されたが当時の民生常任委員会において否決され、本会議において市長が同議案を撤回したという経緯があること
2. 同じく2年半前の議案撤回の際に、各委員が様々な意見を述べられているが、それらについて検討した形跡が見られないこと
3. 市民アンケートをの結果を提案理由の1つとして挙げられているが、賛否どちらにも受け取れる内容であり、本定例会において上程された改正案の根拠とはし難いものであること
4. 他自治体事例をみると、議会や市民との丁寧な情報の共有や議論により、合意形成のもと、同様議案の見直しが実現していること
5. 「現状維持」や「廃止」という結果だけの議論では、『高齢者 VS 若者』など、市民の間に“分断”が生まれ、後々まで尾を引くことになりかねないこと

反対討論全文はこちら →



3月1日閉会の塩竈市議会2月定例会において、塩竈市敬老金等支給条例の一部を改正する条例が上程されました。私たちは塩竈を元気にする会としては、塩竈市敬老金等支給条例の社会の変化に対応した見直しの必要性は理解しつつも、今回の変更案と併せて示された代替事業は社会問題を解決する手段とは考えにくいことや、根拠として挙げられていた市民アンケート結果も、変更案の妥当性を裏付けるものとは考えにくいことから、予算特別委員会において継続

審査として議論を深めて欲しいと主張しました。しかしながら主張は否決されたため、本会議において反対しました。賛成多数で同議案は可決されました。社会の変化に併せて事業を見直していくことは必要なことです。しかしながら、十分な検討や市民との合意形成を経ない形での見直しは市民の間に分断を生じかねません。私たちはこれからもデータに基づいた的確な判断と丁寧な合意形成を軸としたまちづくりを主張していきます。

	対象年齢	改正前	改正後
敬老金	77歳	5,000円	—
	88歳	10,000円	5,000円
長寿祝金	100歳	100,000円	50,000円

敬老金等の一部を改正する条例の主な改正内容

PICK UP!

支えるー支えられるから起きる分断では無い  
共に理解を深め少しずつ支え合う社会を目指して

# より良いバス事業を目指して

昨年9月の定例会で関連予算について反対した『しおナビ・NEWしおナビバス』の値上げについては、2月定例会において、値上げを見込んだ予算が上程されました。バス事業値上げは既に決まっている事項であり、2月定例会でも賛成多数で可決することが見込まれたため、バス事業がより効果的に実施されるために附帯決議(※)を付けることを提案しましたが、賛成少数否決されました。

附帯決議案の内容は下記の通りです。

バス事業はこの4月から値上げがおこなわれております。塩釜を元気にする会は、値上げによる影響を調査しながら、より良い地域交通の形を考へ提案してまいります。

※附帯決議・・・行政が施策を執行する際の留意事項を示したものです。

## 議案第27号 令和6年度塩竈市一般会計予算に対する附帯決議(案)

しおナビ1000円バス、NEWしおナビ1000円バスの運賃については、1000円から1500円への料金改定が予定されているが、検討にあつた市民アンケートの判断に不適切な部分があり料金改定の判断料としては不十分であることや、地域公共交通会議において各委員から出された意見を反映しないまま当局案を諮るなど、料金改定を決定するまでの意思決定のプロセスに問題があつたと考えられる。

地域公共交通の料金改定は、住民の生活は言うまでもなく地域事業者の事業等広範囲に影響を及ぼすことであることから、道路運送法第9条により設置された地域公共交通会議の目的を十分に尊重し、事業の実施にあつては下記事項をふまへ取り組むべきである。

- ① 地域における公共交通の在り方を明確にすべく関係者との協議を重ね、その結果に対して市民や関係事業者から理解を得ること
  - ② 協議にあつては、市民の考えを適切な設問ならびに偏りのない方法で集め、判断材料として使用する
  - ③ 料金改定と並行して利用者数の増加策を実施することにより、経営の安定化を図ること
- 以上、決議する。

## 所属議員からの活動報告



### 西村 勝男

市民から信頼される市政へ。行政は持続可能な自治体運営を目指し、前例や慣習にとらわれず①受益者負担の原則から循環バスの料金を値上げ。②平均寿命の延伸により敬老長寿祝金の削減を決定。③各種団体自立運営へ向け補助金の見直しを検討中です。行政サービスのデジタル化、人的資源の定員適正化、民間活力導入等、財源確保に向けて提言してまいります。



### 伊藤 博章

2月の議会で、受益者負担は原則100%と市長答弁がありました。私は、負担に見合ったサービスを受ける受益者負担の原則と捉える事から、市民の声を広く取り入れ、議論を重ね、公共サービスの提供や維持にかかる費用について、市民のサービスに対する満足度と税金の再配分の最適なバランスを見つける努力を続けていきます。



### 柏 恵美子

塩竈市の魅力のひとつに観光があります。志波彦神社、鹽竈神社の門前町エリアには、昔ながらの建物が立ち並び歴史と文化、風情を今に残す景観を有しており多くの観光客の皆さんが訪れております。今後とも訪れて頂いた皆様が安全で安心して、門前町エリアを周遊して頂く為の環境整備と沿道の商店街等と連携した賑わい創出に向けて取り組んで参ります。



### 土見 大介

今後、塩竈市の財政状況はより厳しさを増すことが予想されており、塩竈市としてもそのための改革を進めていますが、目先の効果だけに囚われ、将来的に大きな負担と生じると考えられるものも散見されます。行政の施策が問題の先送りや新たな課題を生じることにならないよう、施策の調査研究を重ね提案していきたく思います。